

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
エンタテインメント2											
対象	2年 年次	開講期	後期	区分	選	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	舘亜里沙			実務 経験	有	職種	ステージディレクター				
授業概要											
<p>これまでの音楽あるいは音楽と関わりの深いエンターテインメントの実例を知ることによって、音楽業界の今後の可能性と自身の将来の活動について考えます。特に後期は前期の内容をふまえ、自分自身でアートについて調査・考察し、プレゼンすることを中心とします。</p>											
到達目標											
<p>・アートを批評的・客観的に分析し、それを言葉にする力を身につける。・自身のアートに対する批評力を自身のアーティストとしての活動に活かす</p>											
授業方法											
<p>・近年のアートの動向について、昨今の映像技術等もふまえた考察を行う。・毎授業ごとに採り上げる作品やイベントを決めたうえで、学生が調査したことや考察したことをプレゼンテーションする。それを基に講師とディスカッションする。</p>											
成績評価方法											
演習発表の成果（35%）授業への参加態度（35%）期末レポート（30%）											
履修上の注意											
<p>専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、卒業後の自分自身の生きる力を得るべく、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
なし。参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	現代のアートの動向①：技術と音楽との関係										
第2回	現代のアートの動向②：配信の流行等は音楽を変えたか？										
第3回	演習発表に向けての準備□(トピック決め、トピックの調査方法など)										

2023年度 日本工学院八王子専門学校

ミュージックアーティスト科

エンタテインメント2

第4回	演習発表に向けての準備②□(プレゼンの仕方など)
第5回	演習発表①□(トピックは学生の興味・関心と前期の内容をふまえて決定するが、歴史的なものから近年のものまで、商業的なものから芸術的なものまで幅広く採り上げる。またダンスや美術といった音楽以外のアートも対象にする)
第6回	演習発表②
第7回	演習発表③
第8回	演習発表④
第9回	演習発表⑤
第10回	演習発表⑥
第11回	演習発表⑦
第12回	演習発表⑧
第13回	発表内容のまとめ
第14回	期末レポートのための課題提示と概説
第15回	期末レポートの作成